

平成21年4月期 第2四半期決算短信

平成20年12月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 テンポスバスターズ
 コード番号 2751 URL <http://www.tenpos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年12月12日

(氏名) 森下 和光
 (氏名) 毛利 聡

TEL 03-3736-0319

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第2四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成20年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第2四半期	5,926	—	293	—	322	—	170	—
20年4月期第2四半期	5,959	11.0	314	18.2	325	18.3	188	14.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年4月期第2四半期	4,182.11	—
20年4月期第2四半期	4,253.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年4月期第2四半期	4,770	—	2,106	—	40.7	47,569.58
20年4月期	5,015	—	1,961	—	35.8	43,823.65

(参考) 自己資本 21年4月期第2四半期 1,942百万円 20年4月期 1,796百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年4月期	—	—	—	700.00	700.00
21年4月期	—	—	—	—	—
21年4月期(予想)	—	—	—	700.00	700.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.6	700	8.3	700	5.7	300	2.3	7,341.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社テンポス情報館) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第2四半期 47,716株 20年4月期 47,716株
 ② 期末自己株式数 21年4月期第2四半期 6,855株 20年4月期 6,855株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年4月期第2四半期 40,861株 20年4月期第2四半期 44,255株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成20年5月1日～平成20年10月31日)における外食産業の概況は、米国を震源とする世界的な金融不安、米国景気の後退、原油を始めとする資源価格および食糧の乱高下、それに伴う株価の下落・有効求人倍率の低下等により、日本における景気の減速傾向が一段と鮮明になり、先行き不透明感を増した状況で推移しました。

このような厳しい状況、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が59億26百万円、営業利益が2億93百万円、経常利益は3億22百万円となりました。

事業別の概況は次のとおりであります。

飲食店向け機器販売事業は、個人消費に陰りが見られる厳しい環境下でありましたが、新品商品のキャンペーン販売効果やインターネット事業による商品の販売が伸長しました。同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は42億83百万円、営業利益は3億8百万円となっております。

内装工事請負事業は、売上高は減少しましたが、コスト削減に努力した結果、赤字幅の縮小となりました。同事業の当第2四半期累計期間の売上高は9億9百万円、営業利益は、△3百万円となっております。

リース・クレジット取扱事業は、経済悪化の環境下で売上高の減少を余儀なくされました。同事業の当第2四半期累計期間の売上高は5億円、営業利益は10百万円となっております。

その他の事業は懸命な営業努力の結果、売上高は増加しましたが、営業利益は赤字となっております。同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億32百万円、営業利益は△11百万円となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億45百万円減少し、47億70百万円となりました。これは、たな卸資産で34百万円、固定資産で34百万円増加しましたが、流動資産で税金および配当金支払等により現金及び預金が1億48百万円、受取手形及び売掛金、短期貸付金、繰延税金資産がそれぞれ55百万円、59百万円、35百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億90百万円減少し、26億64百万円となりました。これは、短期借入金が1億20百万円、未払法人税等が1億18百万円、役員退職慰労金が85百万円、長期借入金が67百万円それぞれ減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億45百万円増加し、21億6百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことによります。

上記の結果、自己資本比率は40.7%となり、前連結会計年度末に比べて4.9%の改善となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現在の市場における景気後退、景況感の悪化を逆に好材料とすることができる飲食店向け機器販売事業部門においては、リサイクル品の流通量の増加、新規開業時のインシヤルコスト軽減のためのリサイクル品販売の伸長等が見込まれ、連結業績への寄与は期初の予想よりも大きくなる見通しであります。しかしながら内装工事請負部門及びリース・クレジット取扱事業部門においては、景気後退の影響を大きく受ける部門であり、大口案件の減少並びに与信審査の厳格化等により前連結会計年度からの伸長はあるものの、大幅な改善は困難であるとの見通しであります。

平成21年度4月期の連結業績予想につきましては、売上高120億円(前年同期比1.6%増)、営業利益は7億円(前年同期比8.3%増)、経常利益は7億円(前年同期比5.7%増)、当期純利益は3億円(前年同期比2.3%増)を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社 社名 株式会社テンポス情報館
除外 該当なし

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しています。

なお、これによる損益の影響は軽微です。

3. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日)平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日)平成19年3月30日改正)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しています。

なお、これによる損益の影響は軽微です。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	391	539
受取手形及び売掛金	142	197
たな卸資産	1,230	1,196
前渡金	0	6
短期貸付金	270	329
繰延税金資産	100	135
その他	52	62
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	2,186	2,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	132	142
機械装置及び運搬具(純額)	4	5
その他(純額)	10	6
土地	103	103
建設仮勘定	—	—
有形固定資産合計	250	257
無形固定資産		
のれん	418	432
その他	18	14
無形固定資産合計	436	447
投資その他の資産		
投資有価証券	719	669
関係会社出資金	—	—
関係会社株式	138	131
関係会社社債	373	373
長期貸付金	208	232
長期末収入金	110	64
敷金及び保証金	404	404
繰延税金資産	16	27
その他	11	25
貸倒引当金	△86	△83
投資その他の資産合計	1,896	1,845
固定資産合計	2,584	2,550
資産合計	4,770	5,015

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	686	652
短期借入金	100	220
1年内返済予定の長期借入金	308	288
未払法人税等	92	210
賞与引当金	151	138
役員退職慰労引当金	—	85
製品保証引当金	9	13
ポイント引当金	—	—
その他	342	395
流動負債合計	1,690	2,004
固定負債		
長期借入金	726	793
長期未払金	120	140
長期預り敷金	110	97
その他	16	17
固定負債合計	973	1,050
負債合計	2,663	3,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	509	509
資本準備金	472	472
利益準備金	1,748	1,601
自己株式	△786	△786
株主資本合計	1,943	1,796
少数株主持分	163	164
純資産合計	2,106	1,961
負債純資産合計	4,770	5,015

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)
売上高	5,926
売上原価	3,955
売上総利益	1,971
販売費及び一般管理費	1,678
営業利益	293
営業外収益	
受取利息	12
有価証券利息	9
持分法による投資利益	7
その他	15
営業外収益合計	44
営業外費用	
支払利息	10
支払手数料	3
その他	0
営業外費用合計	14
経常利益	322
特別利益	
賞与引当金戻入額	8
その他	3
特別利益合計	12
特別損失	
貸倒引当金繰入額	1
固定資産除却損	3
役員退職慰労金	25
その他	1
特別損失合計	32
税金等調整前四半期純利益	303
法人税、住民税及び事業税	86
法人税等調整額	46
法人税等合計	133
少数株主利益	△1
四半期純利益	170

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年5月1日
至平成20年10月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	303
減価償却費	14
のれん償却額	12
持分法による投資損益(△は益)	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△85
賞与引当金の増減額(△は減少)	12
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3
受取利息及び受取配当金	△12
有価証券利息	△9
支払利息	10
前期損益修正損益(△は益)	1
売上債権の増減額(△は増加)	55
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34
仕入債務の増減額(△は減少)	33
その他の流動資産の増減額(△は増加)	17
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△55
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△8
小計	246
利息及び配当金の受取額	11
利息の受取額	9
利息の支払額	△9
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△212
営業活動によるキャッシュ・フロー	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7
有形固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	△50
短期貸付金の回収による収入	58
長期貸付けによる支出	—
長期貸付金の回収による収入	23
無形固定資産の取得による支出	△5
敷金及び保証金の差入による支出	0
その他の支出	△32
その他	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	480
短期借入金返済による支出	△600
長期借入れによる収入	100
長期借入金返済による支出	△147
配当金の支払額	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△148
現金及び現金同等物の期首残高	539
現金及び現金同等物の四半期末残高	391

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)

	飲食店向け 機器販売事業 (百万円)	内装工事 請合事業 (百万円)	リース・ クレジット 取扱事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,283	909	500	232	5,926	—	5,926
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	313	—	22	1	337	337	—
計	4,597	909	523	233	6,263	337	5,926
営業利益(又は営業損失)	308	△3	10	△11	303	10	293

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)

当社グループは日本以外の国または地域に所属する連結子会社及び海外支店がありませんので、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)

当社グループは日本以外の国または地域に所属する連結子会社及び海外支店がありませんので、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)

該当事項はありません。

「参考」

(要約) 前中間連結損益計算書

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年5月1日 至 平成19年10月31日)
	金額 (百万円)
売上高	5,959
売上原価	3,938
売上総利益	2,020
販売費及び一般管理費	1,706
営業利益	314
営業外収益	30
営業外費用	18
経常利益	325
特別利益	77
特別損失	76
税金等調整前四半期純利益	326
税金費用	165
少数株主利益	△26
四半期純利益	188

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(要約) 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結累計期間 (自 平成19年5月1日 至 平成19年10月31日)
	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	△181
現金及び現金同等物の期首残高	872
現金及び現金同等物の期末残高	691

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年5月1日 至 平成19年10月31日)

	飲食店向け 機器販売事業 (百万円)	内装工事 請合事業 (百万円)	リース・ クレジット 取扱事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,176	950	658	174	5,959	—	5,959
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	295	45	—	4	345	(345)	—
計	4,471	996	658	178	6,304	(345)	5,959
営業費用	4,125	1,028	644	178	5,976	(330)	5,645
営業利益(又は営業損失)	345	△31	14	△0	328	(14)	314